

## 開かれた学校づくりをめざして

### I 研究の内容

#### 1 研究の方法

##### (1) 研究の柱

- ・学校と地域との関わり方・連携の方策について
- ・学校・子どもたちと地域の人々のつながりを生み出す実践
- ・研究の成果の共有（情報の発信も視野に入れながら）

(2) 各部員が、各校の実践（子どもたちの変容の様子、問題点、悩み等）を報告し、それについて情報交換・協議し、研究を深める。夏季学習会では講師を招き理論研究を行う。常任講師の先生方に、常時ご助言・ご指導をいただく。

(3) 保護者・地域との連携について授業実践を通して研究を深める。

#### 2 実践発表と授業研究

(1) 神金小「学校林を生かした取り組みと学校地域支援ボランティア」の実践発表  
・学校林を生かし林務事務所などと連携し親子学習会を全校で行っている。

(2) 勝沼小「保護者・地域住民と連携した取り組み」の実践発表  
・「保護者・地域と連携した取り組み」の実践発表。学校支援ボランティアについての報告。

(3) 加納岩小「保護者・地域住民との交流、取り組み」の実践発表  
・「有価物回収、花いっぱい活動、グランドゴルフ、学年親子活動、PTA各専門部の活動」の報告。

(4) 東雲小「地域や学習支援ボランティアの取り組み」の実践発表  
・学習支援ボランティアを生かした教科での取り組みや、社会教育施設との連携の紹介。

(5) 夏季学習会…授業案検討・理論研究・臨地研修  
・理論研究 「学校と地域の連携を求めて」  
講師 峡東教育事務所 石原義人主幹指導主事  
・臨地研修…「慈雲寺」「雲峰寺」等、甲州市の文化財を視察

(6) 統一授業研究 第3学年 社会科「桃を作る仕事」  
飯室 美華先生（神金小学校）

ねらい…○桃づくりの仕事に関心を持ち、講師の話を知ることができる。

○桃農家では、どのような工夫や努力をして、おいしい桃を作っているのか考えることができる。

授業の流れ…講師の方の話を知り、桃づくりの仕事の様子や工夫、努力していることなどを知る。疑問に思ったことや、もっと聞いてみたいことを質問する。自分の感想をまとめる。

児童の様子…児童は、保護者でもある講師の話をととてもよく聞いていた。実際の道具や、映像などを用いて視覚的に興味を持たせたり、クイズを取り入れるなどの工夫で、子どもたちも集中して取り組んでいた。

- (7) 三富小「保護者・地域住民を巻き込んだ取り組み」の実践発表
  - ・保護者や地域の方と連携して行った学校行事や活動の紹介。
- (8) 岩手小「地域の方々との交流や学習ボランティア取り組み」の実践発表。
  - ・学習ボランティアの活動や総合的な学習で地域の方を講師にした取り組みの紹介
- (9) 後屋敷小「PTAの活動や学習ボランティアの活動」の実践発表
  - ・PTAを中心とした活動の紹介や各教科での学習支援ボランティアの活動の紹介。
- (10) 授業研究 第1学年 生活科 「とびだせ あそびたい ふゆ」

加々美 教子先生 (岩手小学校)

ねらい…保育園の年長児と関わりながら昔の遊びを楽しむことができる。

授業の流れ…保育園の年長児を招待し、遊び会を開く。自分たちで作った学校の様子を紹介したすごろくや、冬のカルタなどを使い、年長児と楽しく遊ぶ中で、2年生への自信と期待を持つ。

児童の様子…児童は1年生として、年長児が楽しく過ごせるようにカルタを取らせてやったり、すごろくで、出た学校の様子を説明したりと、とてもよくがんばっていた。

## II 成果と課題

### 1 成果として

- 研究授業では、保護者や地域との連携によって授業内容の深まりや子どもの興味関心が深まることが分かった。日頃から保護者や地域とのつながりを強くしておくことが重要である。また、授業の中での連携は、講師の選定や打ち合わせを密にし、授業の意図をしっかりと伝えるなどの、今までの研究の成果が生かされていた実践が行えた。
- 保幼小の連携も重要となっている。児童の交流だけでなく教職員交流という視点からも連携を考えるきっかけとなった。
- 子どもを中心とした授業実践を通して検証するスタイルをとっているのが、他郡市にない良さである。
- 各校の実践発表では、「開かれた学校」「地域との連携」について、新しい視点を持った提案がたくさんあり、地域や保護者との連携を教育活動の中に効果的に生かす方策を知り、共有することができた。
- 夏季学習会の講師を招いての理論研究は大変参考になった。臨地研修は、地域を学ぶ良い機会となった。

### 2 課題として

- 保護者や地域との連携については、新しいことを次々と取り入れるのではなく、継続していくこと、今あるもの(教科・学校行事等)を意識して取り組んでいくことも大切ではないか。
- 保護者・地域、外部との連携は増えてきているが、学校(子どもも含む)と外部とつながりは強くなっているかは疑問である。目的をもって共通理解のもとで継続して行っていくことが大切ではないか。

## III 成果物

- 学習指導案2本・学習ワークシート ○各校の実践レポート ○理論研究資料  
(部長 新海 小緒里)